

NADPZ NEWSLETTER

DOUBLE EDITION

April & MAY 2022

17年間の自然農法への情熱

自然農法デモ農家の責任者であるエドソン・スカバンゼを紹介しましょう。エドソンは2005年にプロジェクトが開始されて以来このプロジェクトに携わっており、過去17年間自然農法に対する愛情と献身を示してきました。そのため、私を含め彼と一緒に働いた人たちにとって、私たちはエドソンの自然農法に対する愛と情熱に引き込まれていると感じずにはいられませんでした。そして彼のエネルギーはまわりの人に伝わっていきます。

彼がデモンストレーション農家になることを志願して、自然農法への一番の支持者になった2005年、私は初めて彼に会いました。私たちが最初にプロジェクトを開始した当時、多くの農民は自然農法が本当に機能するかどうか確信できず、プロジェクトに登録参加することを拒んでいました。エドソンと彼の家族は最初に参加した農民たちの一員であり、彼らは即座にその挑戦を受け入れ、ナルベ地域のデモンストレーション農家になることを志願しました。

彼が自然農法によるトウモロコシと野菜栽培を始めて間もなく、会員たちは彼をデモ農家の責任者に選出しました。農民たちは、彼の愛と情熱、そして親しみやすくしかもエネルギーに教える彼の姿勢にとっても励まされたのでした。

エドソンの家族である、妻、6人の子供、彼が世話している身寄りのない3人の子供たちは農場経営を助け、彼らの家を新旧のメンバーのための学習センターにしました。17年間、メンバーによってデモ農家責任者として選出され続けています。

彼はプロジェクトサイトで年に3回、新しい組合員と新しい地域のデモ農家を対象にトレーニングセッションを続けています。彼はまた、自転車に乗って農家を訪問し支援を続けています。

エドソンの献身に対して彼とその家族に感謝します。





ある小農家の成功しているピーナッツ畑

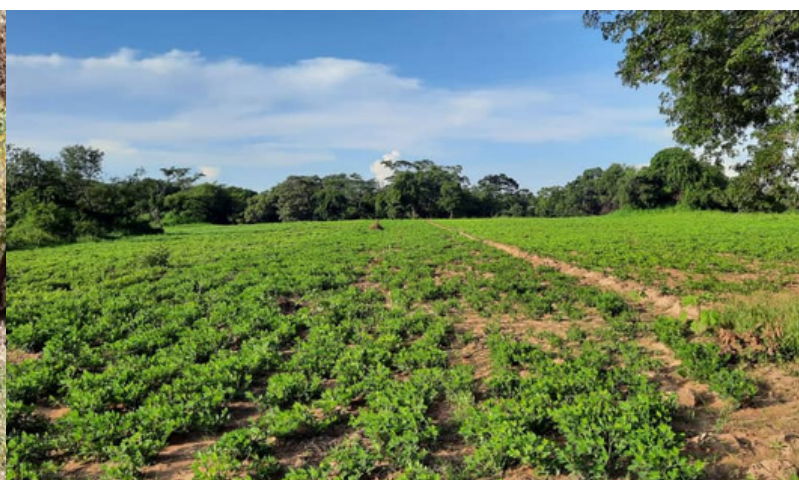
不安定な雨季の後、チララタンボ地区のマネンガ女性グループがピーナッツ畑で収穫しているのを見て興奮した、プロジェクトマネージャーのビューティー・チョマが私に写真を送ってくれました。彼女を驚かせたのは、グループが主に30歳未満の若者で構成されているという事実でした。

2005年にこのプロジェクトを開始して以来、ほとんどの加盟農民は40歳以上であることに気づいていました。これは将来、実働要員としての農民が消滅するという大きな問題を浮き彫りにしていました。ほとんどのアフリカの家庭で労働の担い手となっている若者は、農業を苦しいものと見なしており、農村地域でも就職可能な教育や看護関連の職業について収入を得たいと望んでいます。しかし皆が就職できるわけではありません。

ビューティーの興奮はよく理解できます。プロジェクトサイトの土地の一部を提供してピーナッツを育てることを提案したのは彼女でしたから。ビューティーがジュリアに畑の成功についてどう感じたかを尋ねたところ、「雨が激しく、作物が氾濫しているのを見て、私たちの努力が無駄になってしまうのではないかと心配していましたが、嬉しく思います。心配していましたが、家族の役に立つものを収穫することができました。私たちにもできるという自信ができ、もっと上手くやろうと来シーズンを楽しみにしています。」

25歳で2人の子供を持つ一番若い会員のムルベは、「一生懸命頑張っている程度収穫を得ることができました。しかし何よりも栽培方法を教わり、子供たちの生活に貢献できる機会をいただいたことが嬉しいです。私の将来に自信と希望が湧いてきました!」

これらは、人々の生活がどのように変化したかを示す多くの物語のほんの一部であり、人生を変える小さな成功を共有することが重要です!



アクセス・アグリカルチャーがプロジェクトサイトで女性農民を訓練する



今年の初めに、ザンビア自然農法開発計画

(NADPZ) は、有機農業と農業生態学を支援する非営利団体であるアクセス・アグリカルチャーと覚書を締結しました。アクセス・アグリカルチャーは、農村地方の生活に影響を与えるために、現地の言語で質の高いトレーニングビデオをグローバルおよびローカルで利用できるようにします。

このパートナーシップは、太陽光発電プロジェクトャーを使用して高品質の農民トレーニングビデオを上映し、食料安全保障、気候変動への適応、生計の多様化、地域参加型のビジネスとコミュニティの開発などに向けて、農村地域への影響を強化すること目的としています。

NADPZは、アクセス・アグリカルチャーの若い地方参加のための起業家たちと協力して、農家主導の研究と学習をサポートするために、農村学習に関連するビデオを上映します。私たちの将来の目標は、EcoAgTubeで現地の言語に翻訳した自然農法のビデオをアップロードすることです。これにより、私たちの自然農法プログラムの認知度が高まると考えています。



今月は、地方の農民を対象とした青年主導の組織であるチェディック・アソシエイツ (ERAS) のメンバーで、エドワード・シビーン (26) とストリーヴ・ムサンジェ (29) が、NADPZプロジェクトサイトで最初のトレーニングセッションを実施し、30人の農民が参加しました。現地語のビデオは、農作物に付加価値をつけることで農民がより多くの収入を得られるようにするレッスンでした。彼らが上映したビデオは次のとおりです。

- ・落花生から食用油を作る
- ・鶏に餌を与えて改善する方法
- ・村鶏の数を増やす
- ・牛用の貯蔵牧草の作り方
- ・ヤギの乳製品管理

最初のトレーニングセッションは上手くいき、農民たちは彼/彼女らが得た知識に力を与えられ喜びました。中央プロジェクトサイトを地方の農民や若者の学習ハブにするという私たちの目標が具体化され、このプログラムの成長を楽しみにしています。





カベタ職業訓練センターの 維持・管理

下記の文章が全てを語っている！

普通の3つの建物のように見えるかもしれませんが、ムババラコミュニティの多くの若者にとっては生命線です。2021年から2022年にかけての雨季の後、必要な補修を施した後、カベタ職業訓練センターは、2022/2023年トレーニング年度の新入生を受け入れる準備ができています。

トレーニングセンターの開校以来、新型コロナウイルス感染のパンデミックによる制限のため、参加した学生のグループは2つしかありませんでした。そして受講できる学生数は、使用できる原材料の数量によって制限されていました。また、トレーニングセッション中の宿泊施設がないために、遠く離れた場所に住み、日々の登校が難しい多くの若者がプログラムに登録できないでいます。

現在パンデミック後の世界が再開し、寮も建設中です。学期中に滞在できる場所ができて、より多くの若者が登録できるようになることを楽しみにしています。

電気配線、配管、溶接、料理のクラスなど、提供するプログラムの数を増やし、生徒がより多くの選択肢を選択できるようにしたいと考えています。2022年末までに、生徒が施設を十分に活用できるように、教室や寮施設に電気を引き、配管を設置する予定です。

楽しみに、未来を見つめて！

「それがあなたにとって何の意味もないとしても、彼らにとってすべてを意味するかもしれません」

